

患者様並びに職員のご家族様、地域の皆様へ

この度は、三川病院内で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、ご家族様、地域の皆様に大変なご負担とご心配をお掛けしております。

新型コロナウイルスは、発症の数日前から感染力を有している、ほとんど症状のない方からも感染する、等の特徴のため感染力が大変強く、これまでの院内感染予防策では侵入や拡大を防ぎきれない性質のウイルスであったと感じています。特に、検査の限界もあり、潜伏期間にあった患者様が PCR 検査で陰性と判定され、その数日後に発症して検査で陽性が確認されるというケースが相次いだことも、クラスター拡大の大きな要因であったと考えています。

更に、病院は一般に平方メートル当たりの人の密集度が高く、さらに慢性期医療を主に診療している当院では、患者様と職員の接近度、密着度の高い業務が多いため、このウイルスの感染が拡大するには条件の良い環境であったようにも感じております。

現在まで全力で感染拡大の防止に努めて参りましたが、非常に感染力が強く、種々の対策を講じて、やっとこのペースの拡大に抑えておりました。まだ、新たな感染者の方が判明している状況ですが、これまで積み上げた対策が徐々に功を奏してきており、何とか収束の方向には向かいつつあると感じております。

新型コロナウイルス感染症は、法的な強制力のある指定感染症に指定されており、緊急の非常時的な対応も多く加わったため、これまでの通常の医療ができ難い状況になっておりました。そして、地域にさらに感染を広げないことも、大命題の一つになっております。

患者ご家族様におかれましては面会もままならず、情報提供も不十分な状況で、大きなご不安とご心労をお掛けいたしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

職員の皆様は、家族の一員としての立場よりも医療従事者としての職務を優先していただき、苦しい選択であったと存じますが、感染を広げるリスクを下げるために、不自由な生活を選択または余儀なくされて、大切なご家族様に会うことができないという状況が続いてしまいました。更には、感染のリスクと隣り合わせであること、人員が不足していた中で働いて下さったこと、その他多くのご

苦勞や不便を掛けてしまう事態となり、申し訳なく、大変心苦しく思っております。

職員ご家族様におかれましても、大切な家族と離れ離れになり、不安や混乱の渦中に突然立たされてしまったお気持ちは察するに余りあり、深く胸を痛めております。

職員の皆様は、医療従事者の誇りを持って、日々このウイルスと戦ってまいりました。できるだけ早く元の状況に戻すため懸命に努力して下さり、そのお力で、今まで、この病院は助けられておりました。もうしばらく気の抜けない状況は続きますが、必ず収束できると思います。職員とご家族様がお会いすることも、対策をしていただいた上で可能なレベルになってきております。

一日でも早く終息の日を迎えられますよう、ご家族の皆様には、もうしばらくのご理解を頂けますようお願い致しますとともに、懸命に戦ってこられた職員、ご辛抱を賜りましたご家族様にあらためて御礼申し上げます。

本来であれば、お会いして直接お話しするべきことと存じますが、このような形となりましたこと、何卒ご容赦下さい。

医療法人社団愛陽会 三川病院
院長 錦織 靖